米国好配当リバランスオープン（資産成長型）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2023年10月25日～2024年10月24日

交付運用報告書

第１期（決算日2024年10月24日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国好配当リバランスオープン（資産成長型）」は、このたび、第１期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第１期末（2024年10月24日）	
基準価額	12,143円
純資産総額	9,176百万円
第１期	
騰落率	21.4%
分配金（税引前）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ＳＢＩ岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

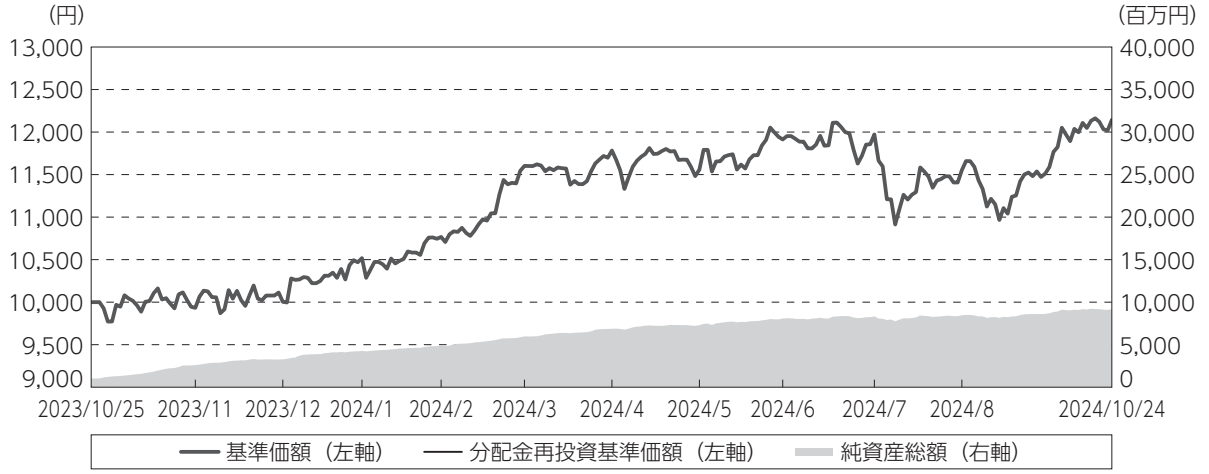
＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

SBI 岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
お問い合わせは弊社投信営業部へ
フリーダイヤル 0120－048－214（営業日の9:00～17:00）
お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。
［ホームページ］
https://www.sbiokasan-am.co.jp
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年10月25日～2024年10月24日)



設定日：10,000円
期　末：12,143円（既払分配金(税引前)：0円）
騰落率：　21.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2023年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。(以下同じ。)

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象は「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」です。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」は主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー米国高配当株指数」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。

以下は、「クロッキー米国高配当株指数」の主なプラス要因およびマイナス要因を記載しております。

(主なプラス要因)

・セクター別では、生活必需品やエネルギーなどが基準価額にプラスに寄与しました。
・個別銘柄では、ワンオークやカミンズなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

・セクター別では、特にありませんでした。
・個別銘柄では、デボン・エナジーやコテラ・エナジーなどが基準価額にマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2023年10月25日～2024年10月24日)

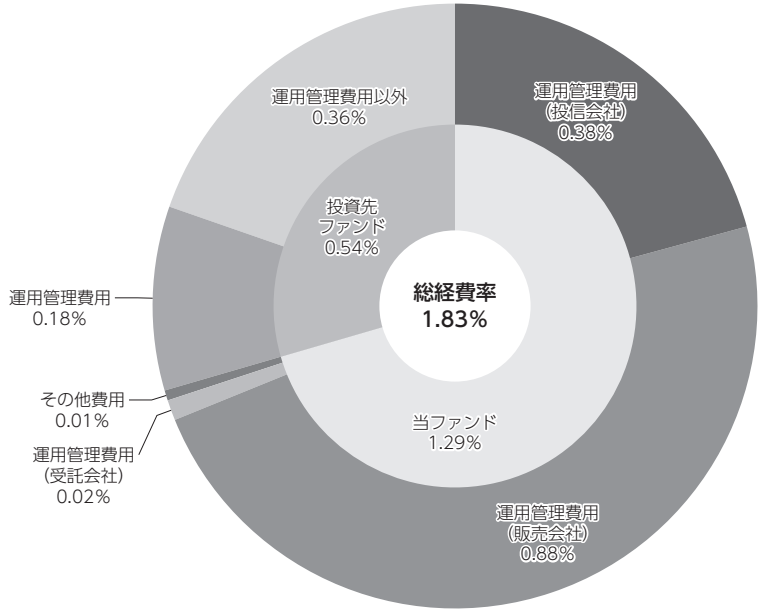
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	142	1.287	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(43)	(0.385)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(97)	(0.880)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.014	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合計	144	1.301	
期中の平均基準価額は、11,070円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.83%です。



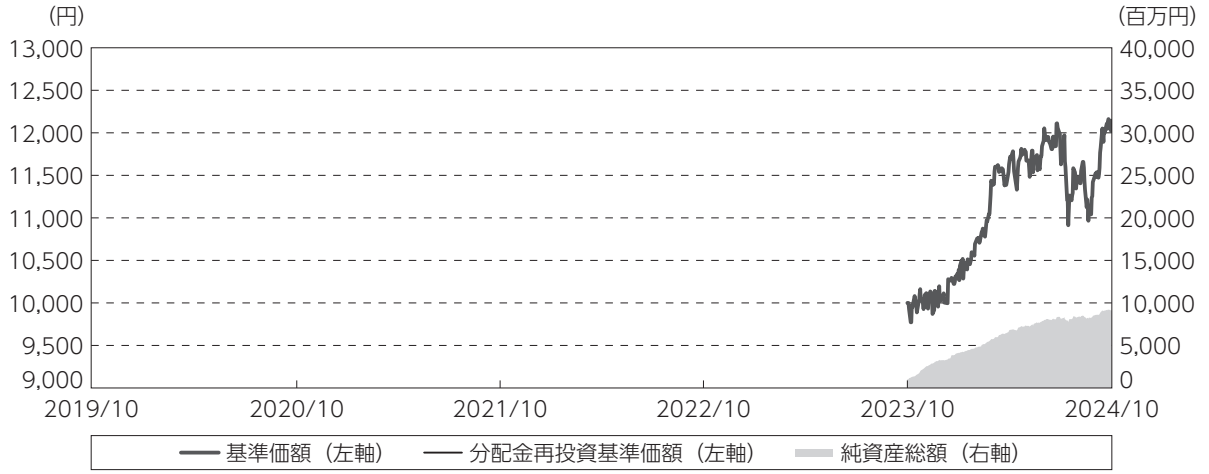
(単位:%)

総経費率(①+②+③)	**1.83**
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.18
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.36

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドの費用において、投資先ファンドにて行われる担保付スワップ取引における指数手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

(2019年10月24日～2024年10月24日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2023年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2023年10月25日 設定日	2024年10月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,143
期間分配金合計(税引前) (円)	－	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	21.4
クロッキー米国高配当株指数(円ベース)騰落率 (%)	－	25.2
純資産総額 (百万円)	1,029	9,176

(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年10月24日の騰落率は設定当初との比較です。
(注) クロッキー米国高配当株指数（円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

（2023年10月25日～2024年10月24日）

設定日（2023年10月25日）以降の米国株式市場は、軟調な経済指標を受けて利上げ打ち止め観測が広がったことや、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）においてハト派（金融緩和寄り）スタンスがより強まったことなどが支援材料となり、堅調な展開となりました。2024年に入ってからも、雇用統計で引き続き経済の堅調さが示され、ソフトランディング（経済の軟着陸）期待が一層高まったほか、半導体大手の好調な決算が好感され、上昇基調が継続しました。しかし、３月から４月下旬にかけては、物価関連指標が継続して市場予想を上回ったことを受けて利下げ観測が後退したほか、イスラエルとイランが対立するなど地政学リスクが高まったことから、米国株式市場は下落しました。５月以降は、景気悪化懸念や中東情勢緊迫化から一時下落する場面もありましたが、生成ＡＩ（人工知能）市場の拡大を背景に半導体株が上昇し、株式市場をけん引しました。また、データセンターや電力需要増加期待の公益株など生成ＡＩの関連銘柄へ物色が波及したことも株価押し上げ要因となりました。９月には米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が0.50％の大幅な利下げを決定したことを受けて、景気の先行き不安が和らぎ、上げ幅を拡大しました。

為替（米ドル／円）は、期の前半は上昇（米ドル高／円安）する展開になりました。設定日から2023年12月にかけては、米国における2024年の利下げが意識されるなか、米ドル／円は下落（米ドル安／円高）しました。2024年に入ってからは、米国の早期利下げ観測が後退したことに加え、日銀によるマイナス金利の解除後も緩和的な金融政策が維持されるとの見方を背景に、米ドル／円は上昇する展開となりました。７月にかけて160円台まで米ドル／円が上昇する場面がありましたが、その後は米国の利下げや日本の利上げ観測が高まるなか、投資家の円売りポジションの縮小が加速し、大幅に米ドル／円は下落しました。９月中旬には140円近辺となりましたが、ＦＲＢの大幅な利下げを受けて米国経済の先行き見通しが改善したことで期末にかけて150円程度まで持ち直しました。

国内短期金融市場では、2024年１月の日銀金融政策決定会合後の植田総裁の記者会見を受け、日銀がマイナス金利政策の解除に前向きとの見方が強まったことから、１年国債利回りは上昇する展開となりました。その後、３月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策を解除し、７月の金融政策決定会合では追加利上げが決定されるなど、日銀が金融政策の正常化を着実に進めるなか、１年国債利回りは0.3％前半まで上昇して期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年10月25日～2024年10月24日）

＜米国好配当リバランスオープン（資産成長型）＞

「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」、「マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ」を主要投資対象とし、「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位を維持しました。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主として担保付スワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。なお、2024年10月24日時点のクロッキー米国高配当株指数の構成銘柄数は53銘柄、実績平均配当利回りは3.5％となりました。

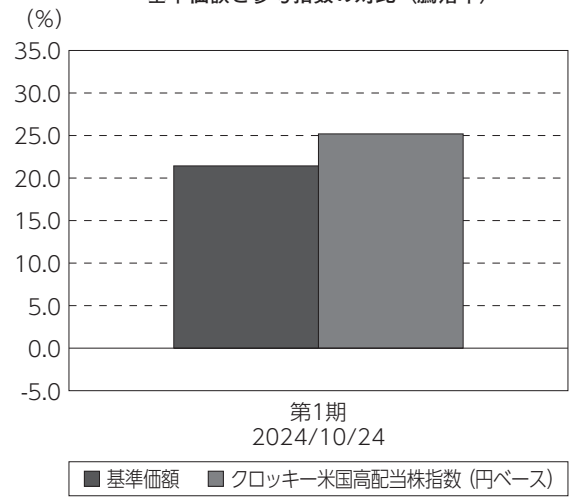
○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ
わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年10月25日～2024年10月24日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）です。

分配金

(2023年10月25日～2024年10月24日)

当ファンドは、毎年10月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。
当期の分配につきましては、収益分配は見送りと致しました。
なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位:円、1万口当たり･税引前）

項　　目	第1期 2023年10月25日～ 2024年10月24日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,143

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

米国株式市場は、売り買いが交錯する展開を想定します。ＦＲＢによる利下げが株価のサポート材料となる一方、2024年11月後半にかけては2024年７-９月期の決算発表や米大統領選挙を控え、売りの出やすい展開が予想されます。米大統領選挙通過後は、ＦＲＢによる金融緩和政策や2025年度以降の企業業績回復への期待により、市場は底堅く推移すると予想します。

為替市場（米ドル／円）は、ＦＲＢの利下げが一定程度織り込まれている一方、日銀の利上げペースは緩やかなものに留まると予想されることや、今後も新NISA導入後の個人投資家による海外証券投資が継続すると見られることなどから、米ドル／円は緩やかに上昇すると想定しています。

国内短期金融市場は、今後も金融政策の正常化を着実に進めると予想されることが利回りの上昇要因に働くと見ています。しかし、植田日銀総裁は利上げの判断について時間的な余裕があるとの見方を示していることや、石破新首相による経済政策が不透明なこと、海外の主要中央銀行が利下げ局面入りしていることなどを踏まえると、利回りの上昇ペースは緩やかなものに留まると予想します。

（運用方針）

＜米国好配当リバランスオープン（資産成長型）＞

当ファンドの主要投資対象である「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位に保つことを基本としますが、市況環境等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主として担保付スワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。

○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

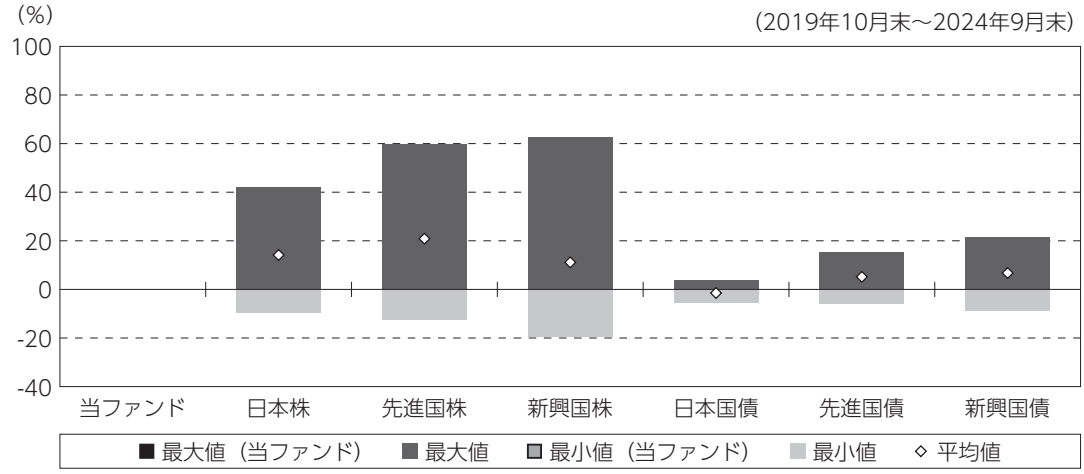
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年10月25日から2045年10月24日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数※（円ベース）のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※「クロッキー米国高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき米国を代表する企業の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundおよびマネー・インベストメント・マザーファンドⅡを主要投資対象とします。
	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	担保付スワップ取引を主要投資対象とします。
	マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundにおいては、クロッキー米国高配当株指数(円ベース）のリターンを享受するために担保付スワップ取引を行います。	
分配方針	毎年10月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。なお、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	―	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
最小値	―	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	―	14.1	20.9	11.1	△ 1.5	5.2	6.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2019年10月から2024年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。
(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株:MSCI－KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債:NOMURA－BPI国債
先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債:JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

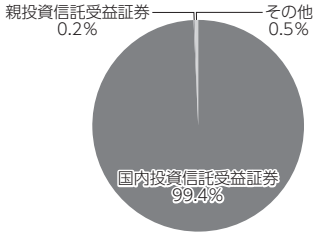
組入資産の内容

(2024年10月24日現在)

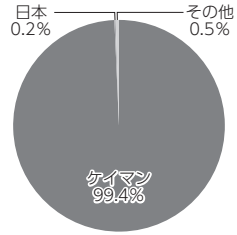
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	99.4
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2
組入銘柄数	2銘柄

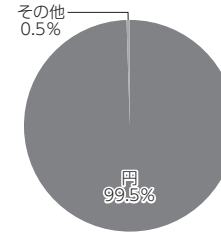
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第1期末
	2024年10月24日
純資産総額	9,176,813,802円
受益権総口数	7,557,119,337口
1万口当たり基準価額	12,143円

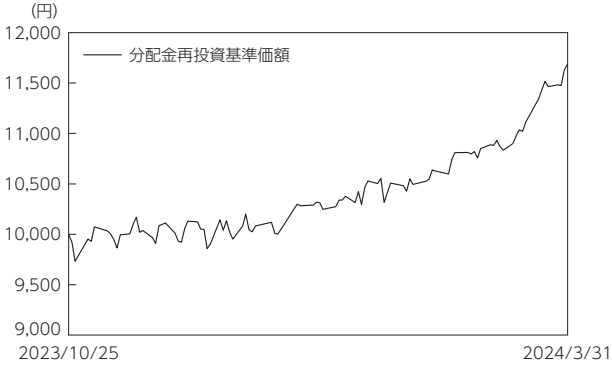
(注) 当初設定元本額は1,029,598,020円、期中における追加設定元本額は7,826,516,130円、同解約元本額は1,298,994,813円です。

組入上位ファンドの概要

Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

※IQ EQ Fund Management (Ireland) Limitedのデータ等を基に、ＳＢＩ岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2023年10月25日～2024年3月31日)

当ファンドにおける１万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

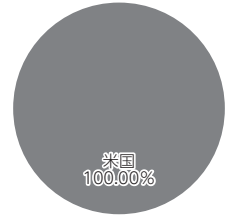
【組入上位銘柄】

(2024年3月31日現在)

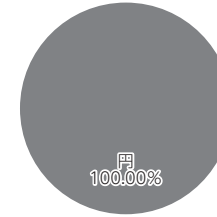
銘　　柄	比 率
	%
株式バスケット・スワップ取引＊ トータル・プライス・リターン・スワップ	100.05
組入銘柄数	1銘柄

【資産別配分】

【国別配分】



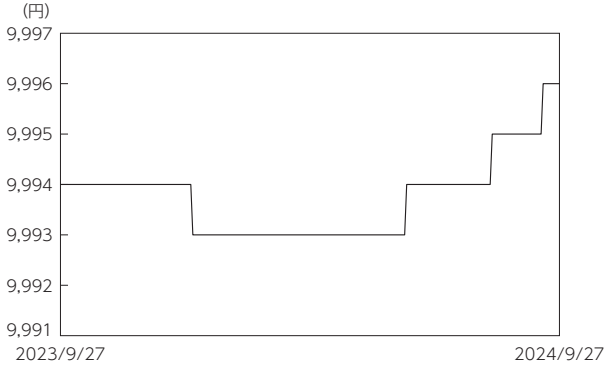
【通貨別配分】



(注) 組入上位銘柄および資産別配分の比率は、当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分および通貨別配分の比率は、当ファンドのポートフォリオに対する比率です。
(注) 国別配分は、投資国を表示しています。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
＊当ファンドは、ドイツ銀行との全額出資のパフォーマンス・スワップを通じて、株式バスケット・スワップ取引に対する想定エクスポージャーを有しています。

マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

（2023年9月28日～2024年9月27日）

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	0	0.001
（その他）	(0)	(0.001)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は、9,993円です。		

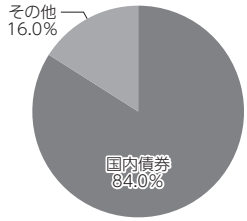
（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

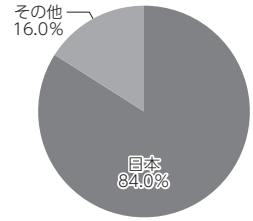
（2024年9月27日現在）

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第229回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	20.5
2	第４回政府保証新関西国際空港債券	特殊債券	円	日本	10.3
3	第234回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	10.2
4	第26回政府保証株式会社日本政策投資銀行社債	特殊債券	円	日本	10.2
5	第65回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	7.2
6	第35回政府保証日本政策金融公庫債券	特殊債券	円	日本	5.1
7	第236回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	5.1
8	第69回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	5.1
9	第227回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	5.1
10	第1195回国庫短期証券	国債証券	円	日本	5.1
組入銘柄数		10銘柄			

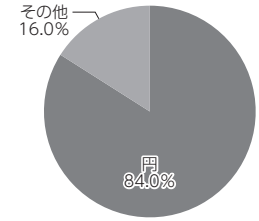
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
（注）国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債

NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。